

工業部会通信

(発行)
相模原商工会議所工業部会
(編集)
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042 (851) 2021
FAX：042 (851) 3532

随時発行です。工業部会の定期活動をご紹介します。印刷しご自由にお読み下さい。

3体制で活動充実へ

視察や広報、社会奉仕など

2つの新プロジェクト発足



プロジェクト発足に向け議論が交わされた部会

相模原商工会議所・工業部会（甲斐美利部会長 向洋技研社長）は、2つの新プロジェクトを発足した。既存の「GETプロジェクト」（新成長ビジネス支援事業）に加え、視察や広報・奉仕などを担当するプロジェクトを立ち上げた。

GETプロも継続

同部会に在籍する商議所の議員全員が、いずれかのプロジェクトに所属。それぞれが積極的に参加することで、部会活動の活性化につなげる。新設するのは、部会で実施する視察事業を担当する「TRYプロジェクト」、広報・社会奉仕活動を担当する「KIZUNA（絆）プロジェクト」。

シンガポール視察

「昆虫サイボーグ」など見学

近未来研

近未来技術研究会は11月25日、シンガポールでの海外視察例会を実施した。JETRO職員も同行。現地の学術機関が行っている最先端技術や現地進出企業などを視察した。

一行は、まずSIMITech（シンガポールにおける科学技術研究の監督・支援を行う法定機関）を訪問。同機関で手掛けられている成形・加工・接合

といった製造技術の最先端研究を見学した。写真。また、南洋理工大学に出向き、同大学の機械航空宇宙工学科・佐藤裕崇教授から、研究内容も聞いた。

佐藤教授は、昆虫にチップを取り付け、無線で意のままに昆虫を操る「昆虫サイボーグ」の研究を行っている第一人者。「近未来には、この昆虫サイボーグが、災害



地調査やテロ対策で飛び回る」などの説明に、参加者全員が興味を示していた。

このほか、湘南デザイン（緑区橋本台）のシンガポール支社も訪れた。3Dスキャナーによるデータの作成、NC機による形状の削り出し、塗装による飾りなど、同支社の生産体制などを見学した。シンガポールはASEAN

「経営判断」で議論

若手ものづくりスクール



人材や土地や設備、情報といったなかで、それぞれの経験談を交えながら話していた。なかでも企業にとって重要な人材採用では、白熱した内容となった。「新卒と中途採用のミックスがよい」（吉田社長）、「新卒を育て会社には貢献するまでになるには10年以上かかる。専門性を持った中途採用が重要」（山崎社長）などの意見があった。

相模原商工会議所・工業部会所属の経営者らが講師を務める「モノづくりビジネススクール」が11月3日、市立産業会館で開かれた。全5回。同スクールは市内の若手経営者やその予備軍を対象としている。3回目となる今回は、湘南デザイン・松岡康彦CEO、山崎利宏・城山工業社長、西澤勇司・キヤロットシステムズ社長、吉田英訓・ミヨシ・ロジスティックス社長、小林昌純・コバヤシ精密工業社長の計5人が講師を務めた。

5人は、経営を進めていく上での「経営判断」について、自身の経験談を交えながら話していた。なかでも人材採用の話題では、それぞれの経営者が持論を展開した。

的に何をしていくかの詳細は、今後詰めていく。KIZUNAプロジェクトでは、商議所の会員向けに、活動内容を広く知ってもらうため、会報の発行なども企画している。

青工研 関東経産局と意見交換を行う

相模原の工業系企業の若手経営者らで構成される「相模原市青年工業経営研究会」（青工研）は11月13日、関東経済産業局（さいたま市中央区）



新成長ビジネスGETプロジェクトはこのほど、市立産業会館（中央区中央）で、経営講演会「ヘルスケア分野シェアNo.1」市場を制する経営戦略」を開催した。同社の担当者が、トッピシアに至るまでの経緯と今後の展望を語っていた。

GET推進会議

新委員長に早川氏選出

GETプロジェクトは、11月28日、商工会議所の第1会議室で「第1回推進会議」を開催した。早川正彦氏（早川銘板社長）、副委員長には豊岡淳氏（ユタカ精工社長）とする事務局案を全会一致で承認した。

同プロジェクトは、会員などを対象に、セミナーや勉強会を定期開催することを目的としている。「新成長ビジネス」をキーワードとし、タイムリーな情報で企画する。今回の推進会議では、今後の新規事業として、工業部会の会員約800社すべてが対象となる、

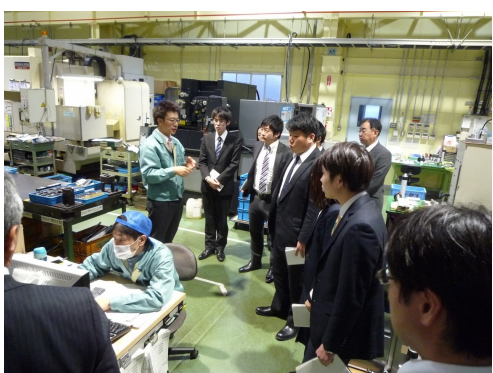
何らかの事業を行うことを検討していくことで一致した。さらに、地域性を生かしたエネルギー利用、会員の販路開拓につなげるための情報発信なども検討する。同プロジェクトで提案された意見を、市への要望に盛り込むことも視野に入れる。



リガルジョイントの製品の説明を受ける若手職員

関東経産局が視察 若手職員の研修で

経済産業省・関東経済産業局はこのほど、入局1〜2年以内の若手職員2社を視察した。若い職員が中小企業の現場を知ること、将来の政策立案に向けた感性を養ってもらうのが狙い。



訪問先では、工場見学の後、経営者と意見交換した。経営者も国の産業政策に対する意見や要望も述べていた。訪問先となっ

1月17日に新春講演会

相模原商工会議所は1月17日、市立産業会館で新春経済講演会「日本経済の展望とこれからの企業戦略について」を開く。時間は午後3〜同4時30分まで。講師は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの五十嵐敬喜執行役員。問い合わせは、経営支援課042（753）8135まで。